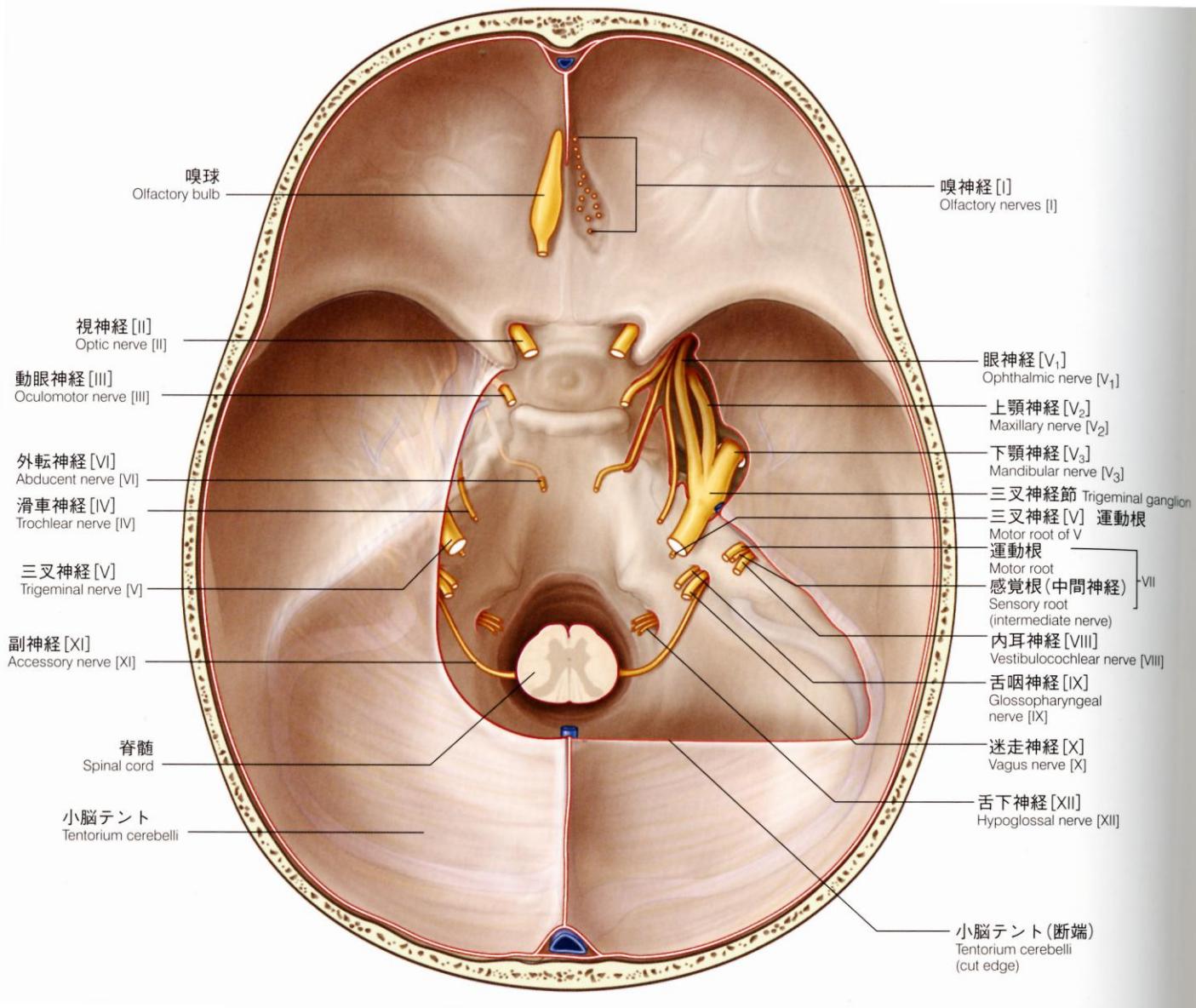


# 頭部・顔面 3

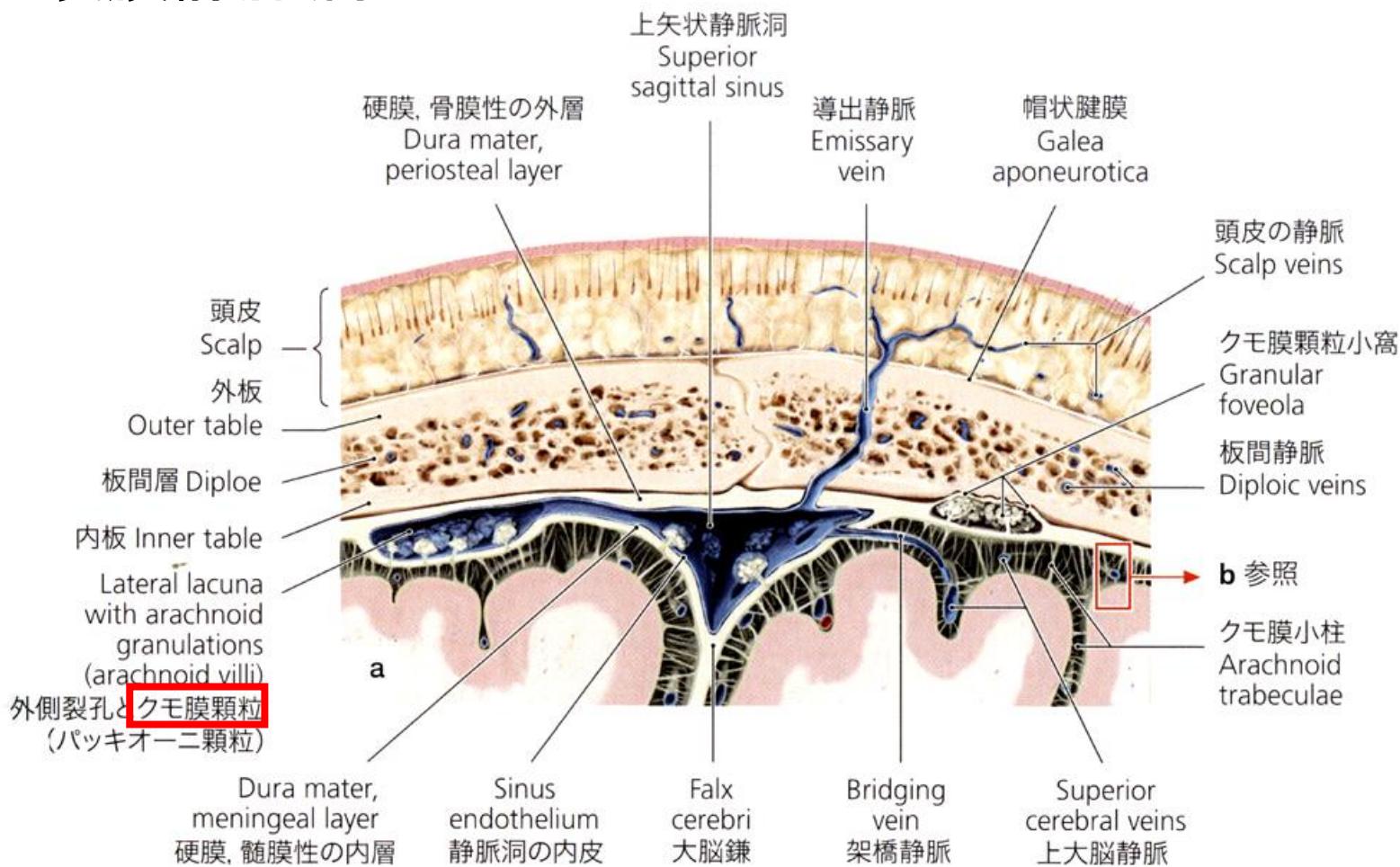
- 内頭蓋底の観察
- 口腔の観察
- 側頭筋・咬筋の剖出

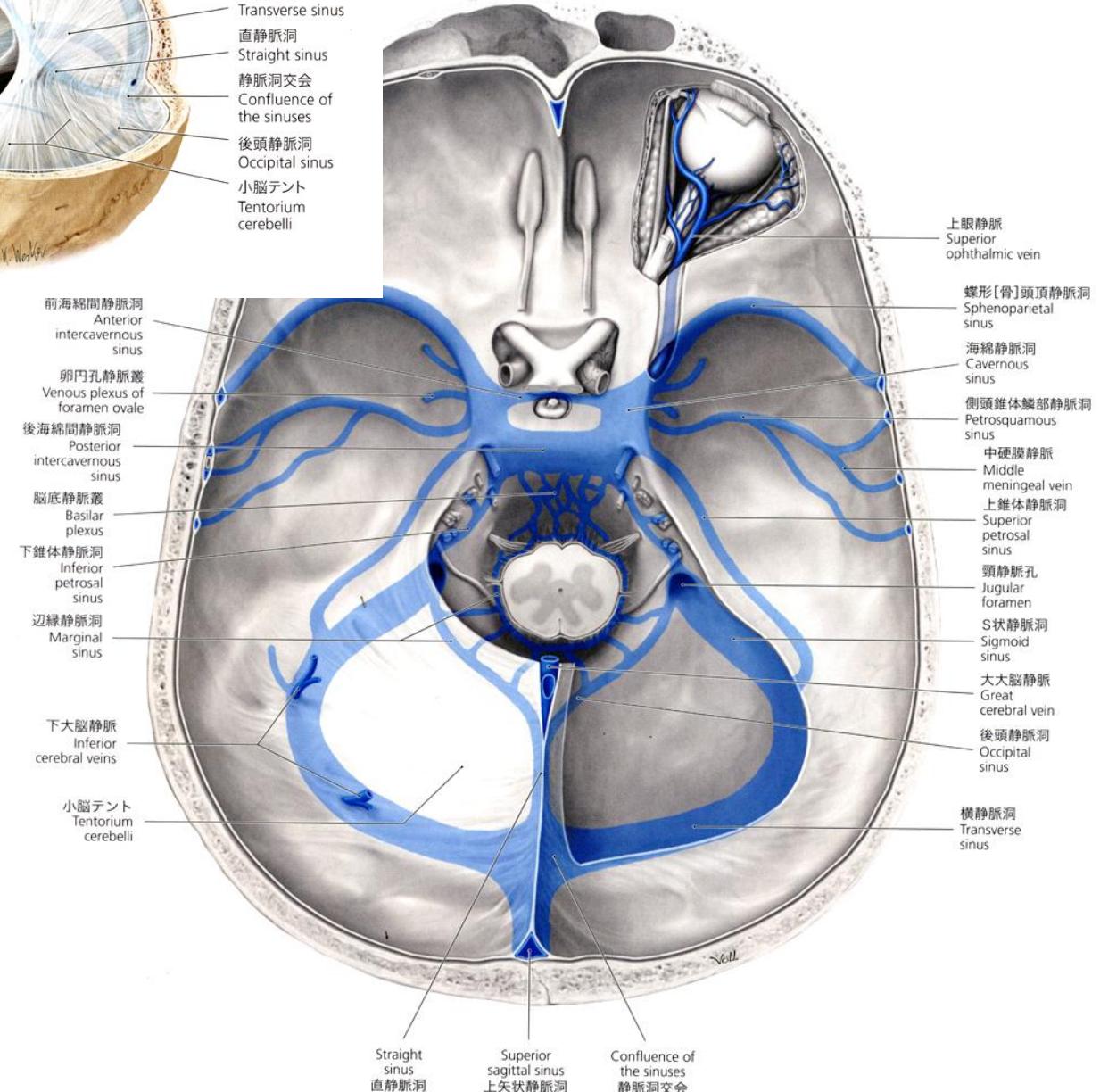
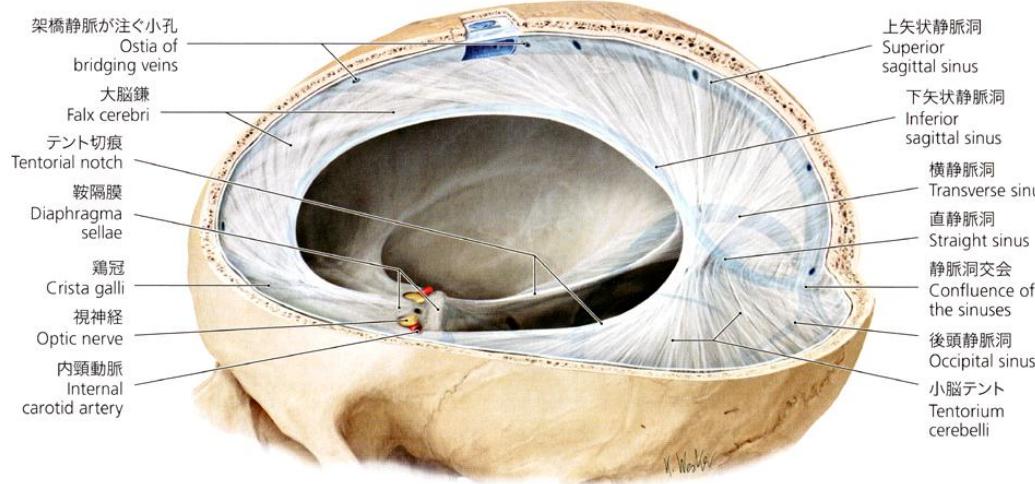
## 硬膜をかぶったまま脳神経・孔を確認する





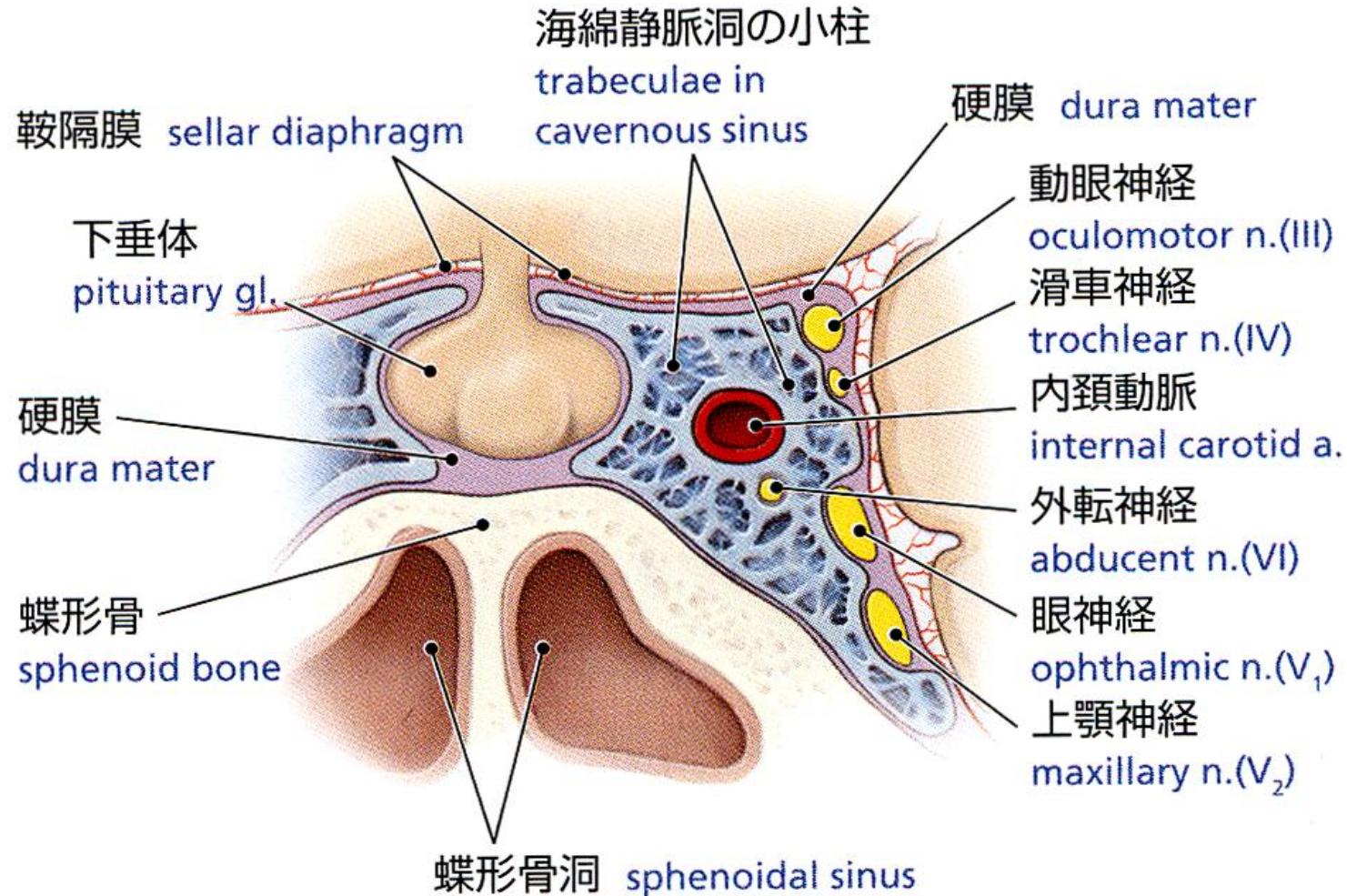
## 硬膜静脈洞





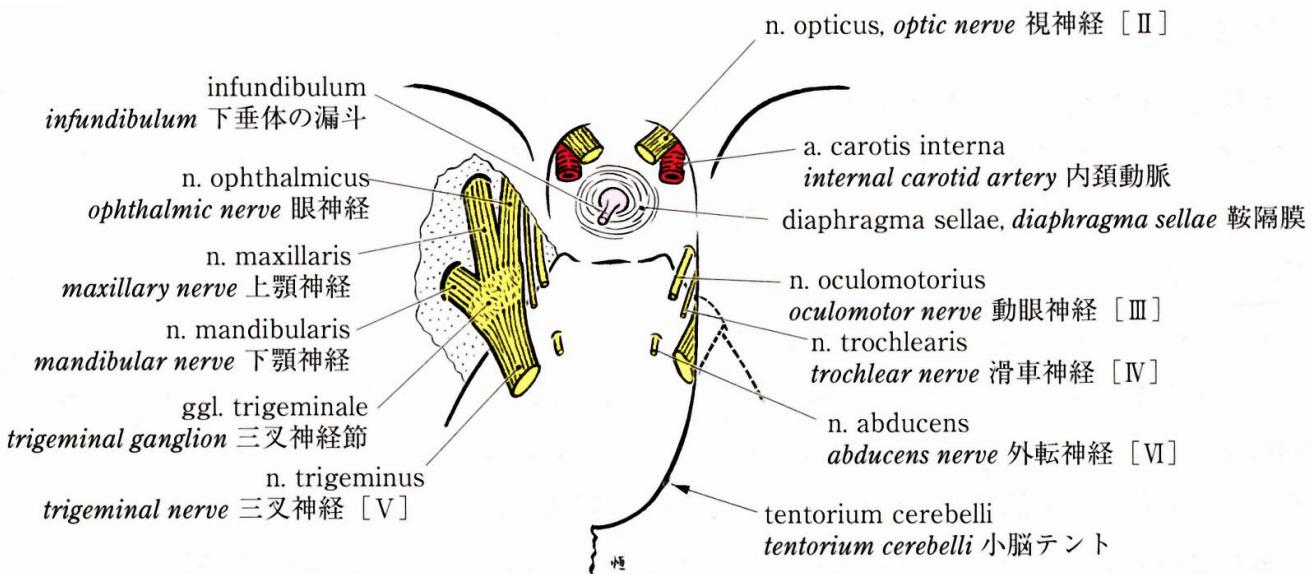
ハサミで静脈洞を  
切り開いて走行を  
確認

下垂体を取り出し、硬膜を剥ぎながら海綿静脈洞とそこを通過する内頸動脈と神経を確認する。



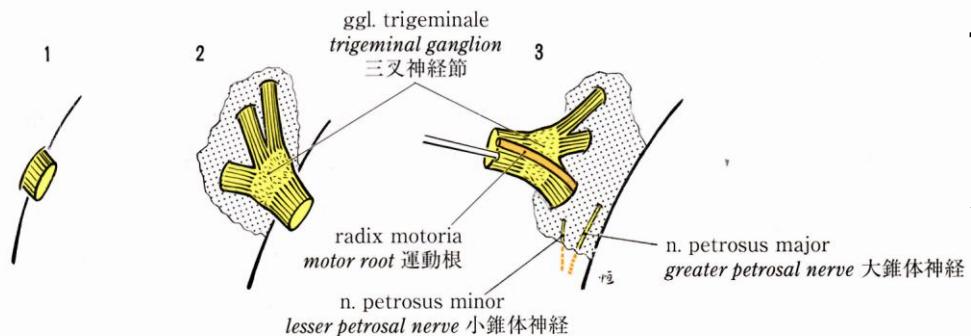
海綿静脈洞周辺に炎症や腫瘍などが生じると隣接する神経が障害されることがある

# 1) 硬膜内に埋まっている滑車神経・動眼神経・外転神経を掘り出す



218. 頭蓋底の中央部 の内面

左半では 小脳テントを切り去り、硬膜を一部 はいである。



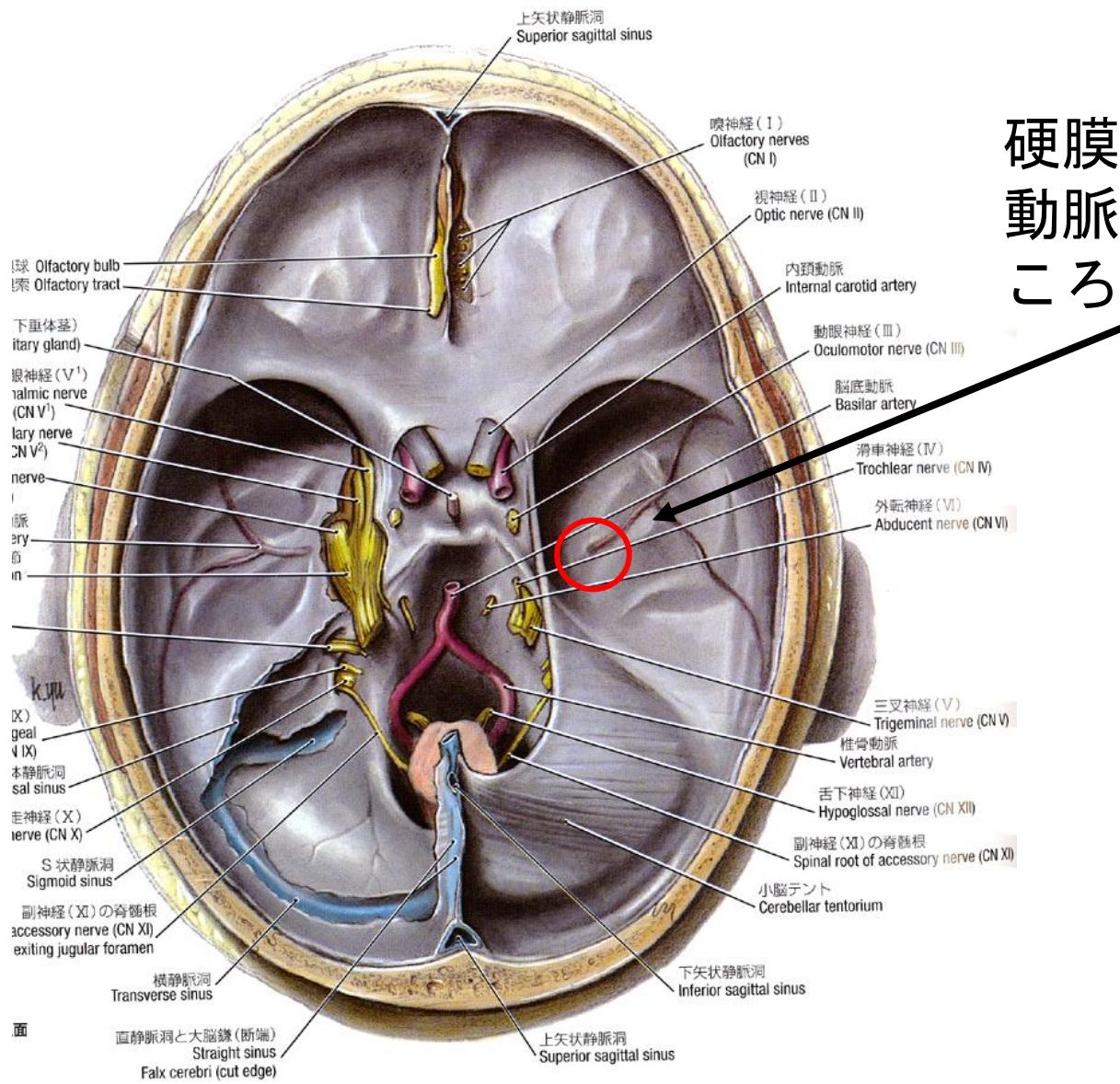
219. 三叉神經の根 (左) の剖出順序

硬膜をはいで骨が露出した部分には、点を打ってある。

# 2) 硬膜を丁寧に はぎとりながら 三叉神経節とその 枝を剖出する。 (眼神経・上顎神 経・下顎神経は孔 まで追うこと)

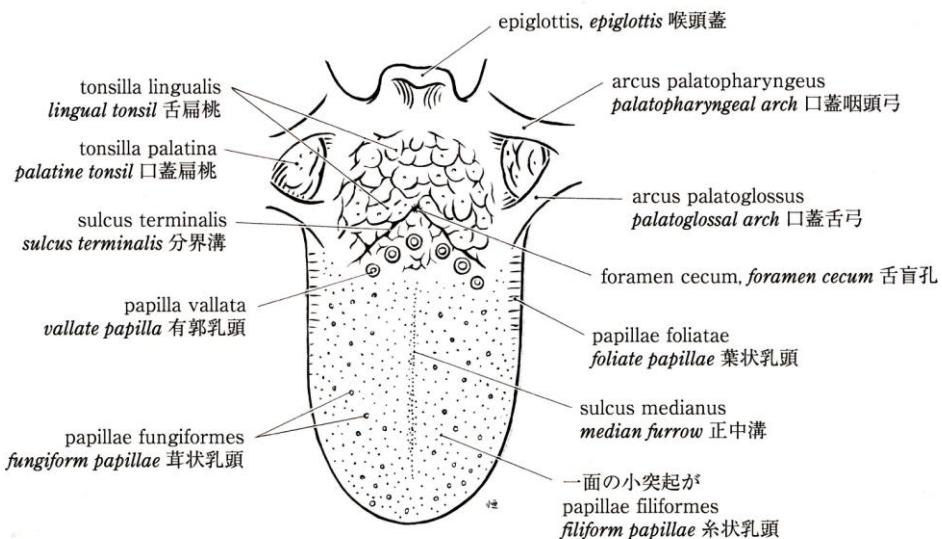
# 3) 三叉神経節を裏がえし、下 顎神経にそって運動根が入る。 三叉神経節の底面には 大錐体神経が走るのを確認する。

硬膜をむいて、中硬膜動脈が棘孔から出るところを確認。

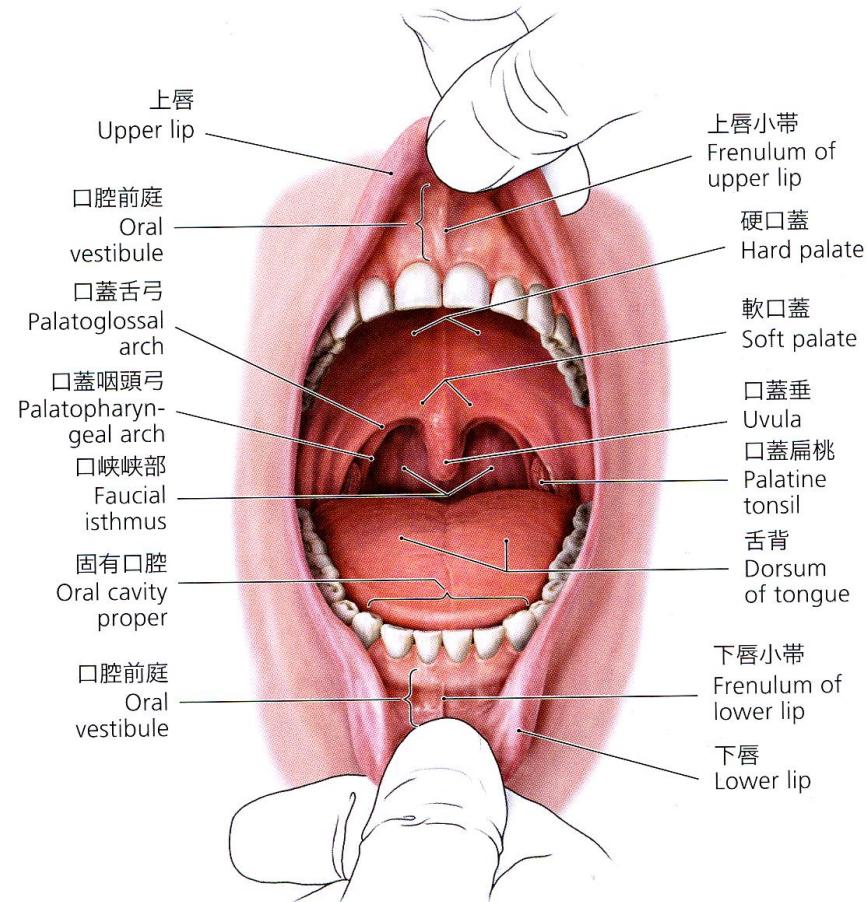


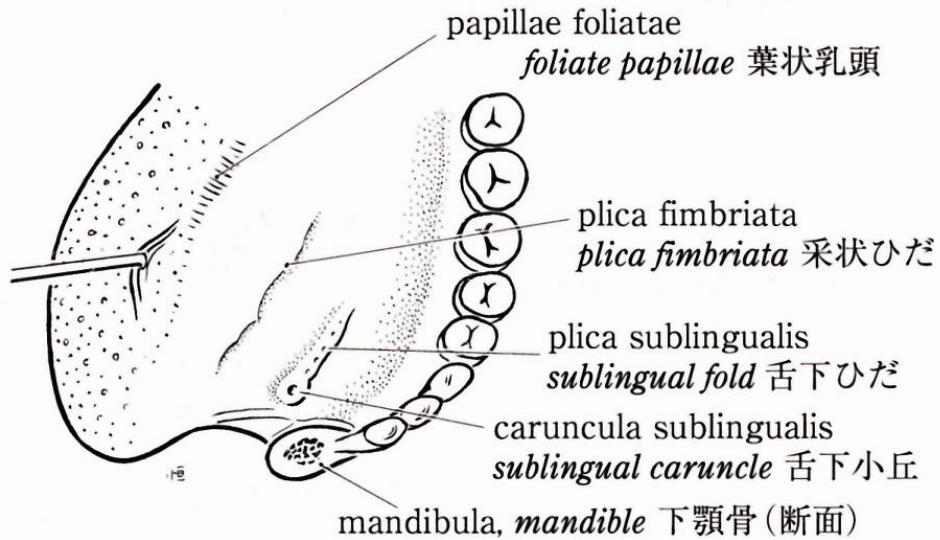
# 口腔の観察

手引きP27



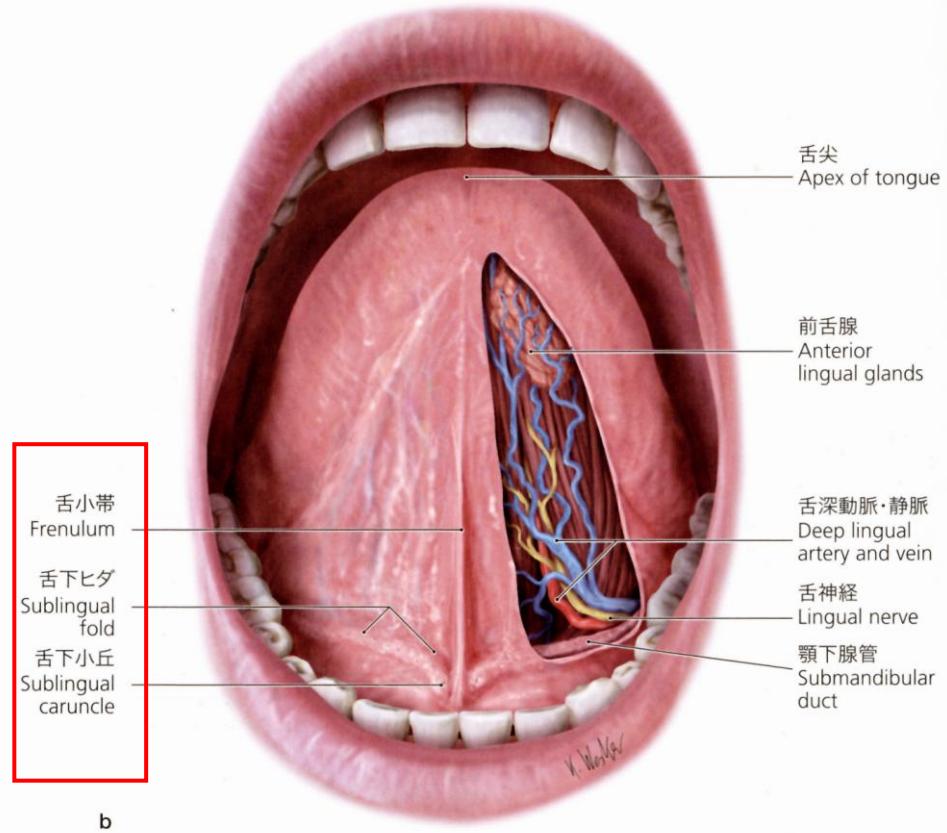
221. 舌の背面  
諸君のご遺体では切半されているが。



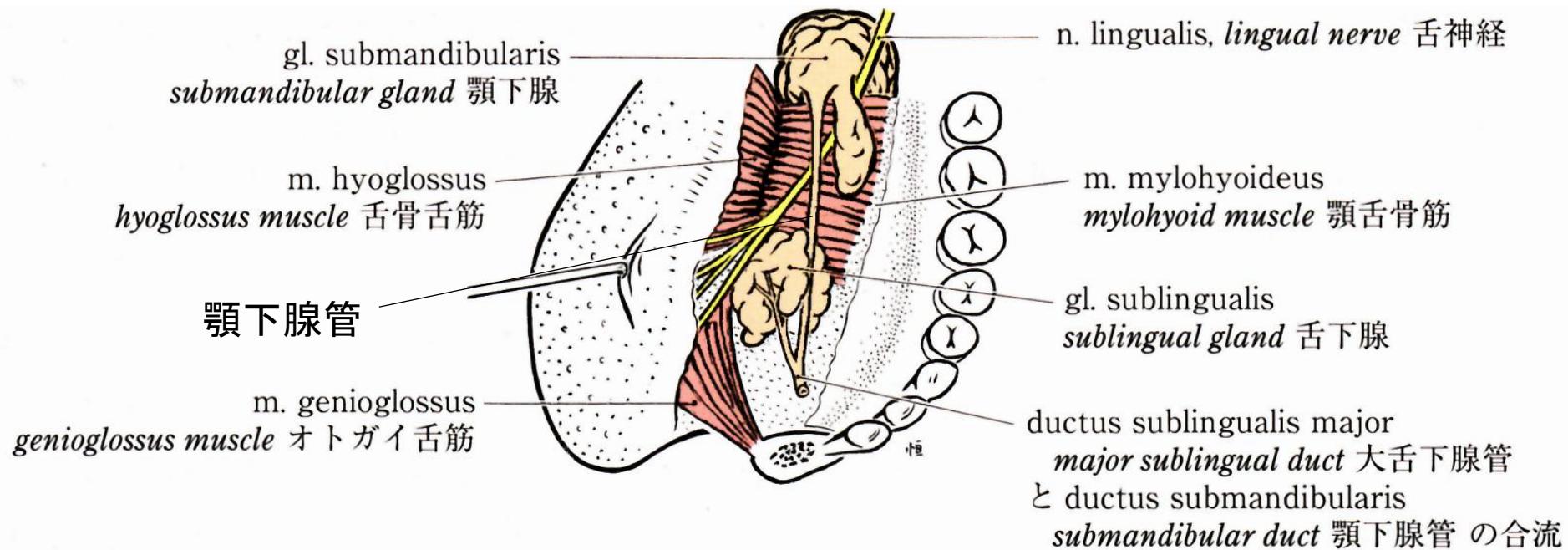


## 222. 口底の解剖（1）

下顎の左半で、舌を右へ引いたところ。

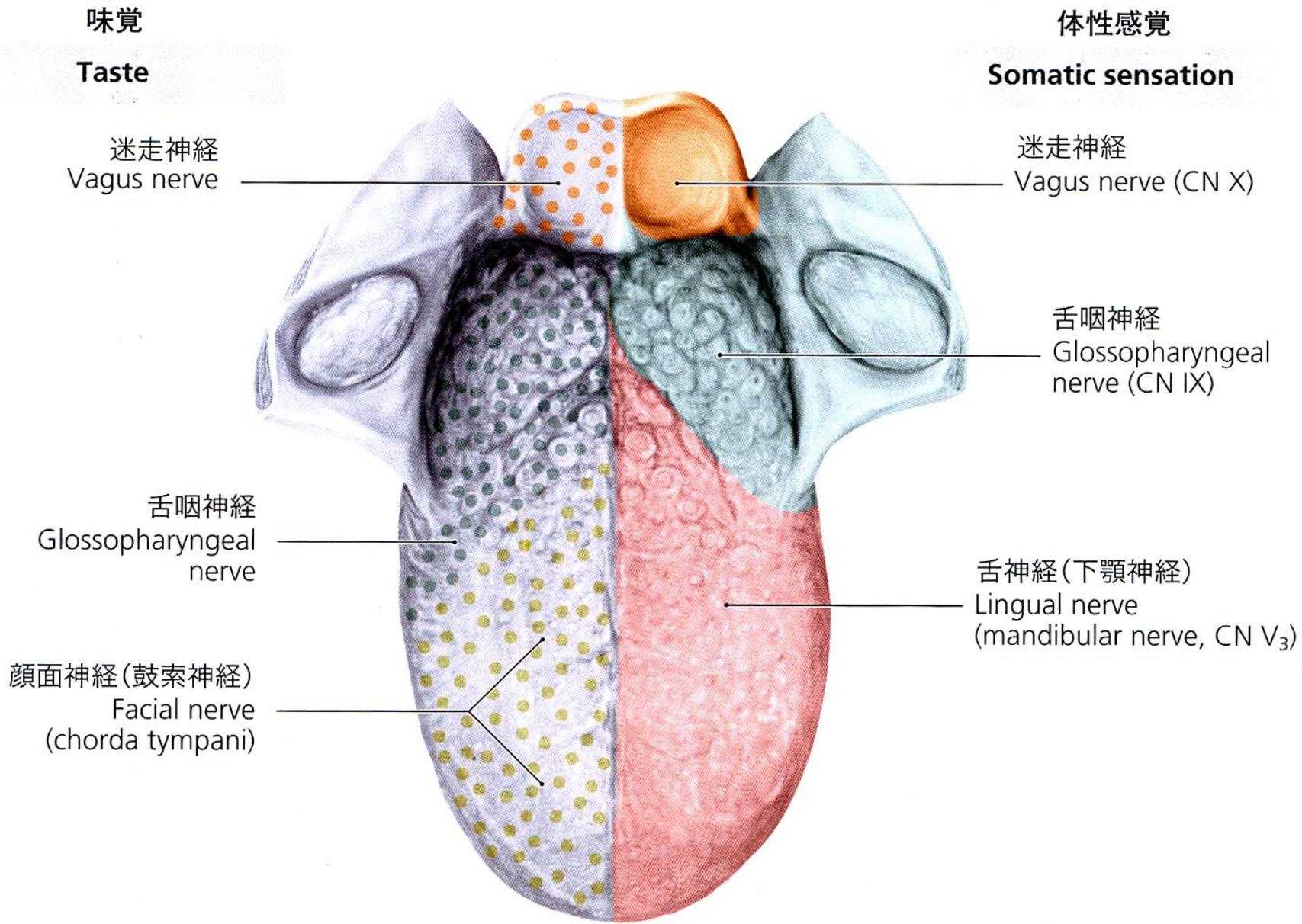


# 口腔内の粘膜をむいて、舌神経・舌下腺・頸下腺管を剖出する

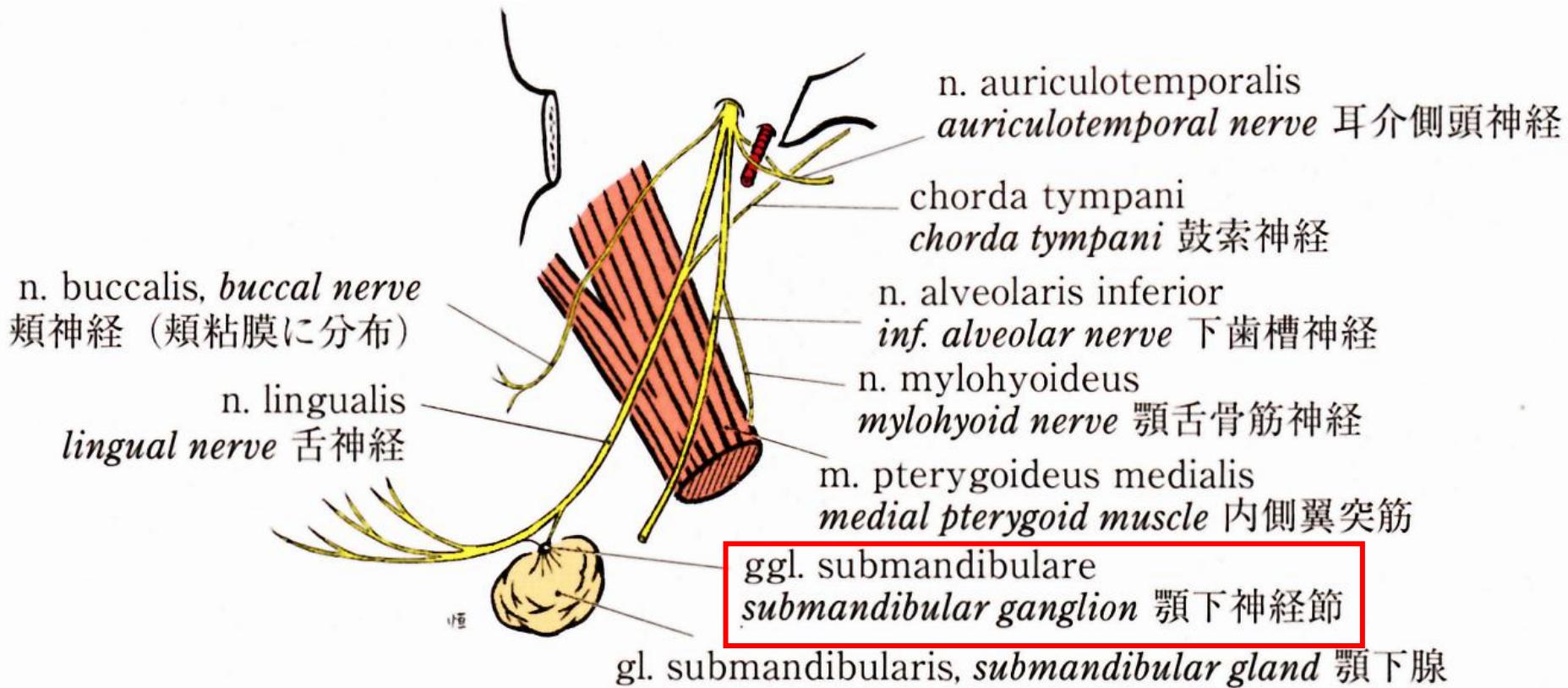


223. 口底の解剖（2）

# 舌に関する神経



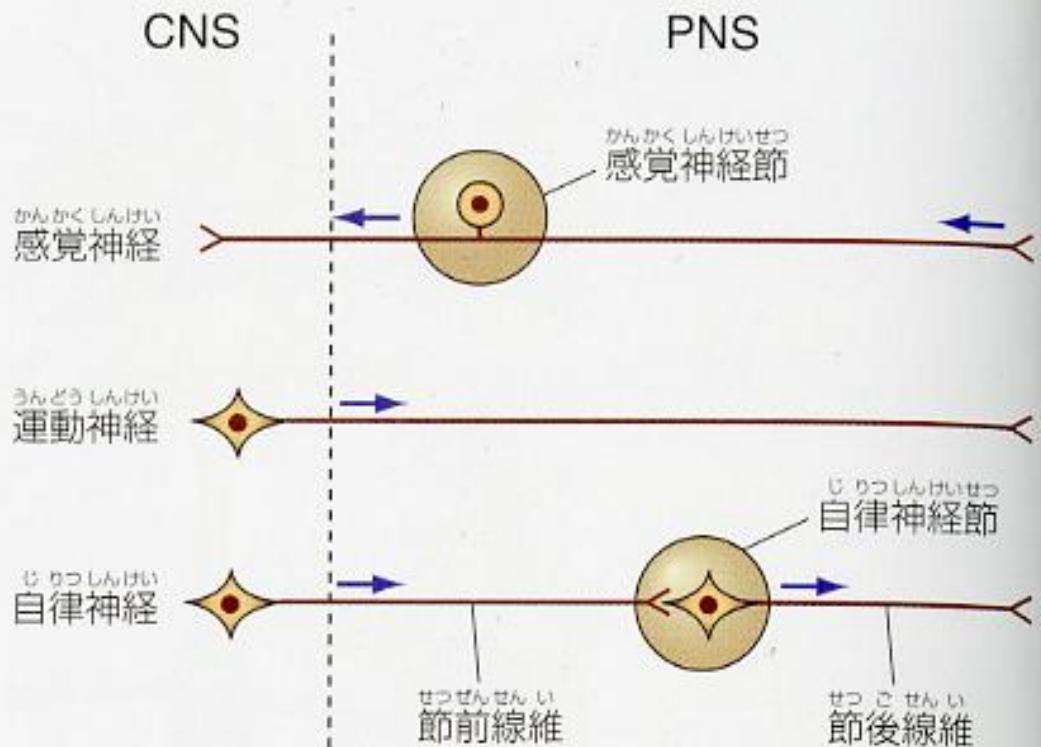
# 顎下神経節



234. 下顎枝の裏側 の解剖手順（3）

顎下腺の実質に半ば埋まっている

# 神経節

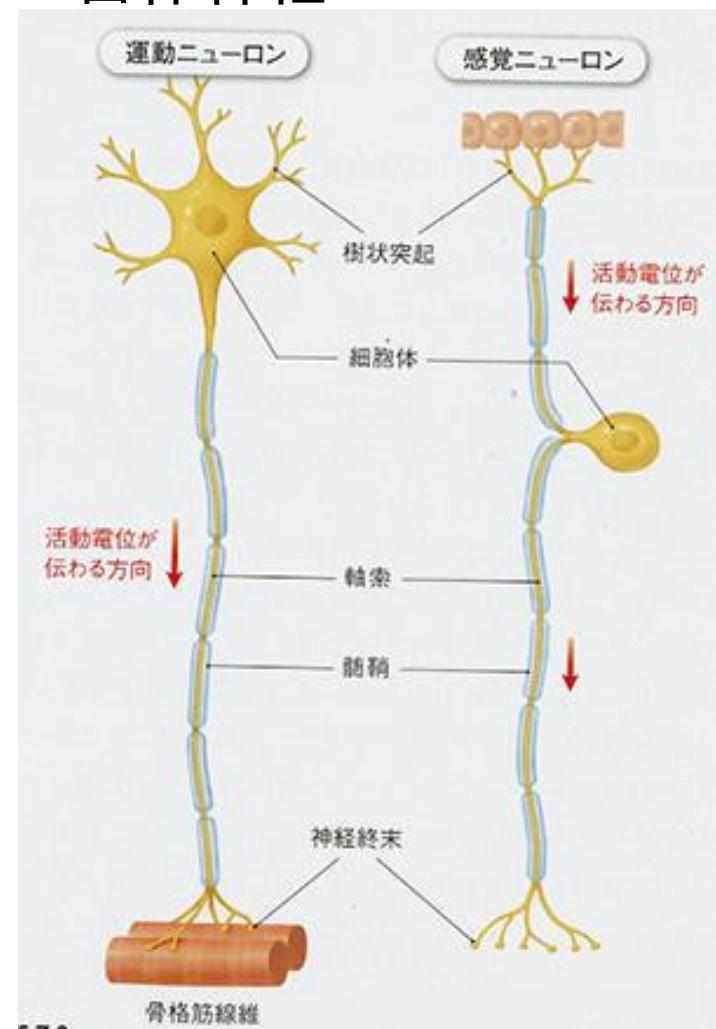


▶図 5-8 末梢神経のニューロン構成

矢印の向きは興奮伝導の方向を示す。

CNS：中枢神経系、PNS：末梢神経系

## 自律神経

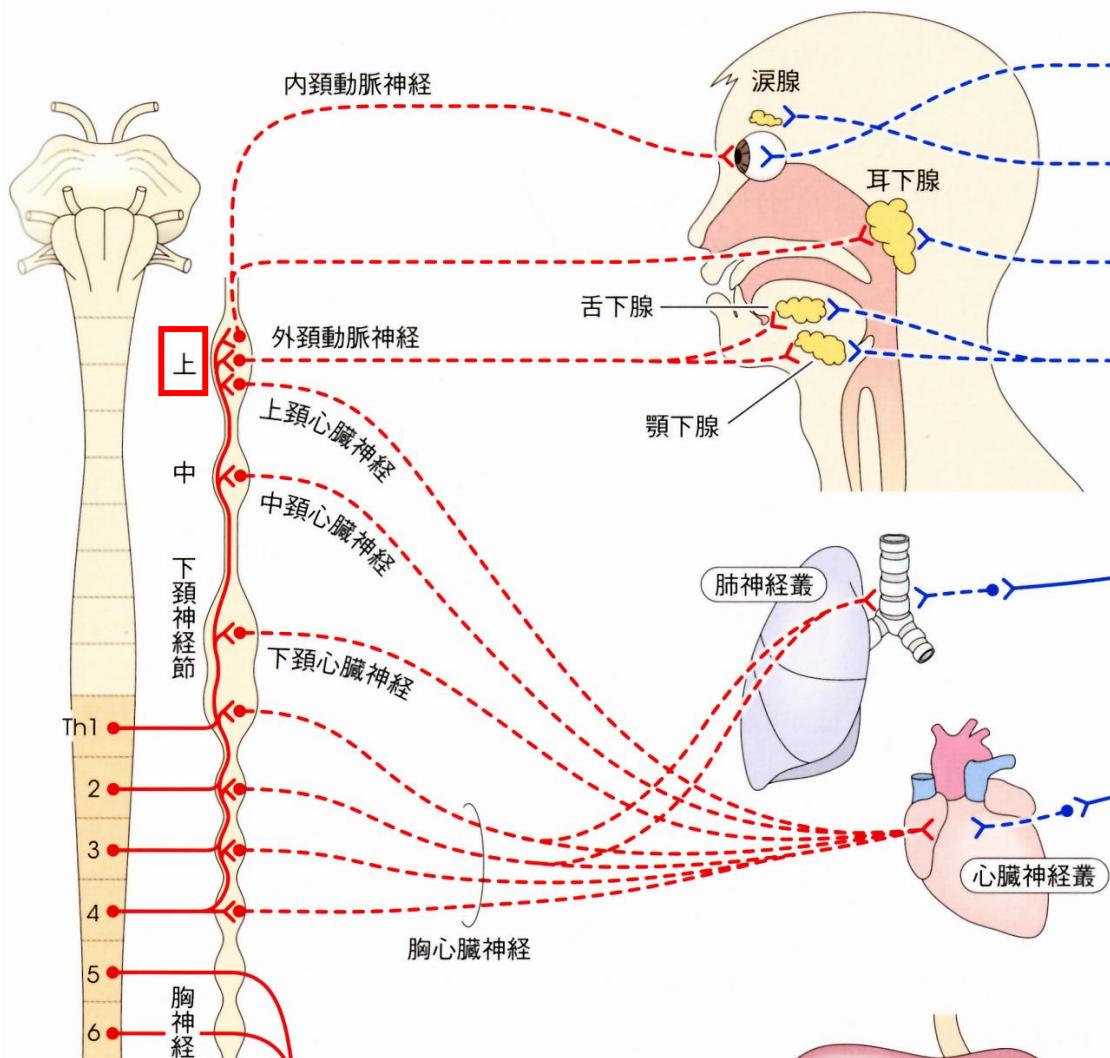


多極性

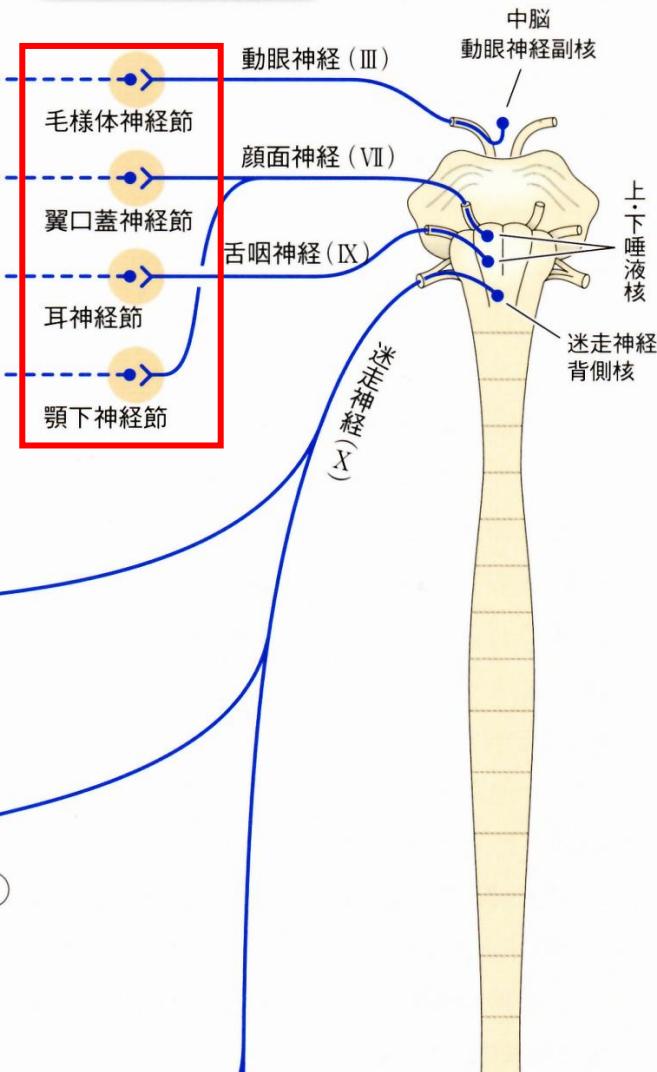
偽单極性

# 頭部顔面の自律性神経節

## 交感神経系

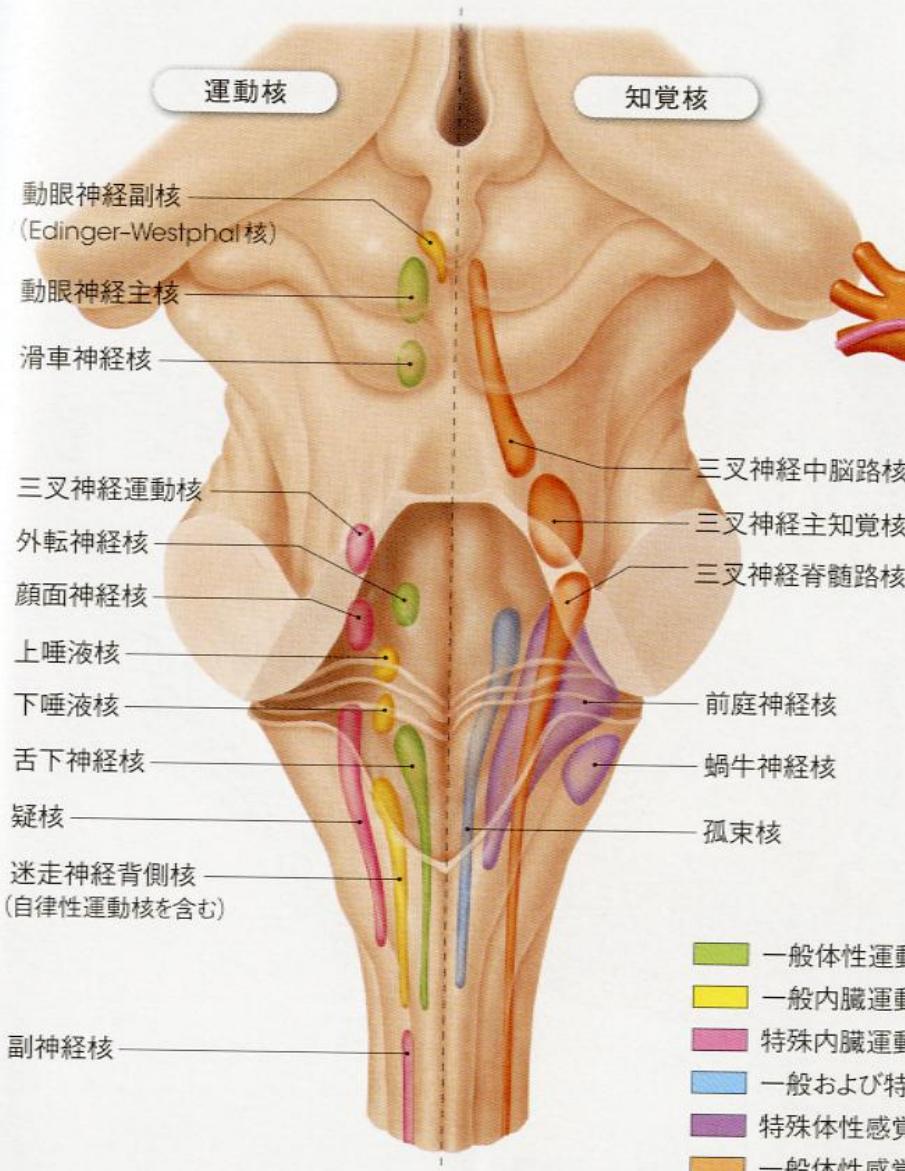


## 副交感神経系

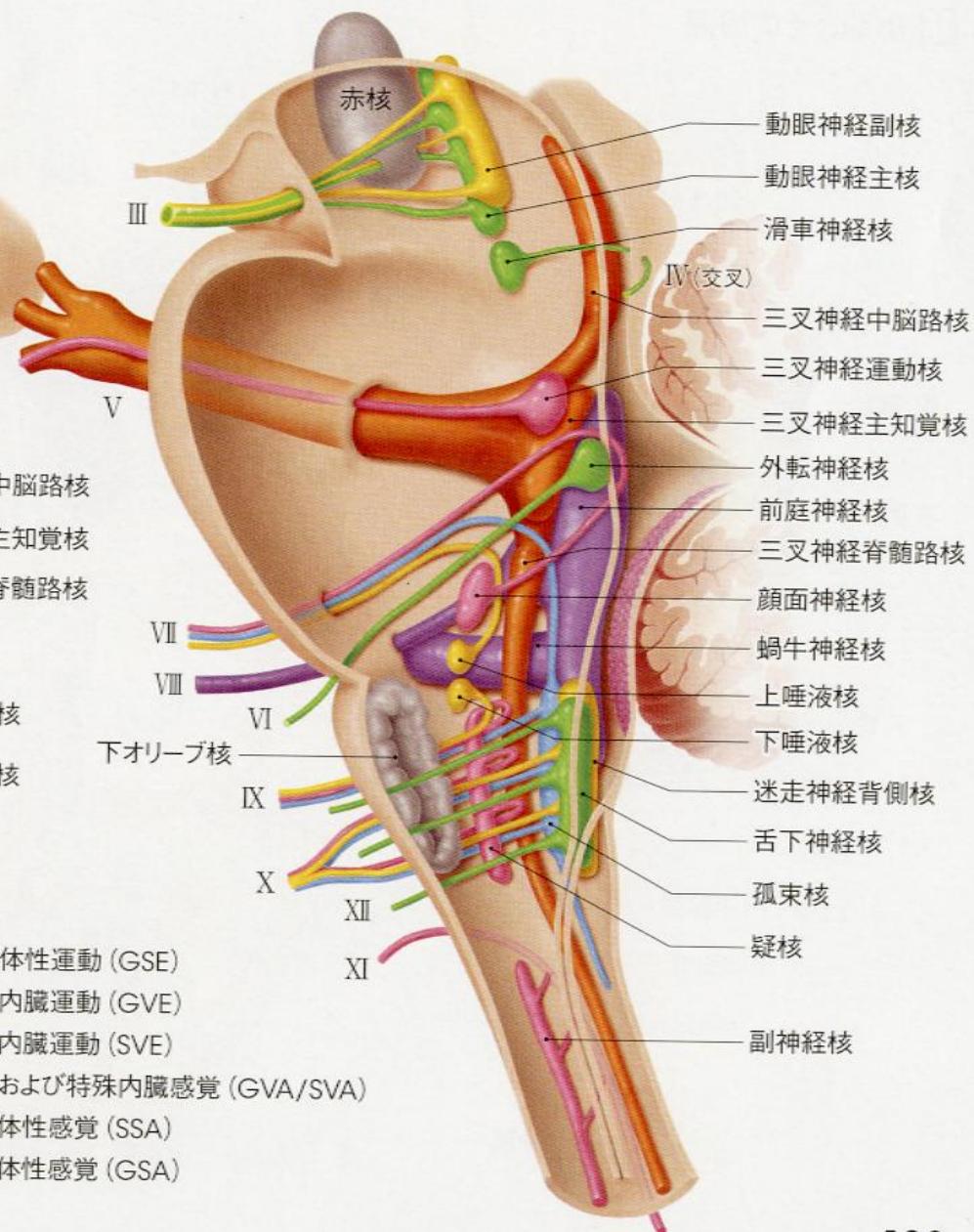


## 44 脳神経核

背面に投影



- 一般体性運動 (GSE)
- 一般内臓運動 (GVE)
- 特殊内臓運動 (SVE)
- 一般および特殊内臓感覺 (GVA/SVA)
- 特殊体性感覺 (SSA)
- 一般体性感覺 (GSA)



節前線維

鼓索神経

舌神経

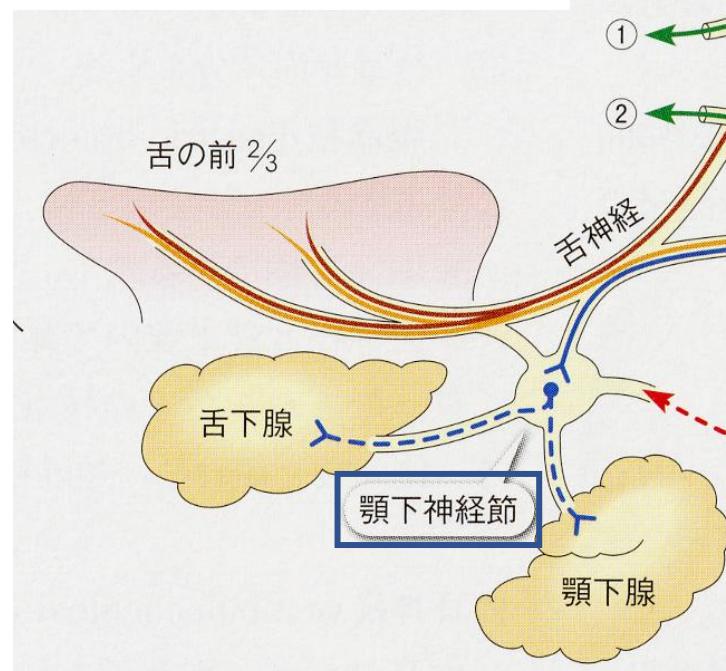
節後線維



舌下腺・顎下腺

顔面神経の  
副交感神経  
線維

#### 49 耳神経節, 顎下神経節

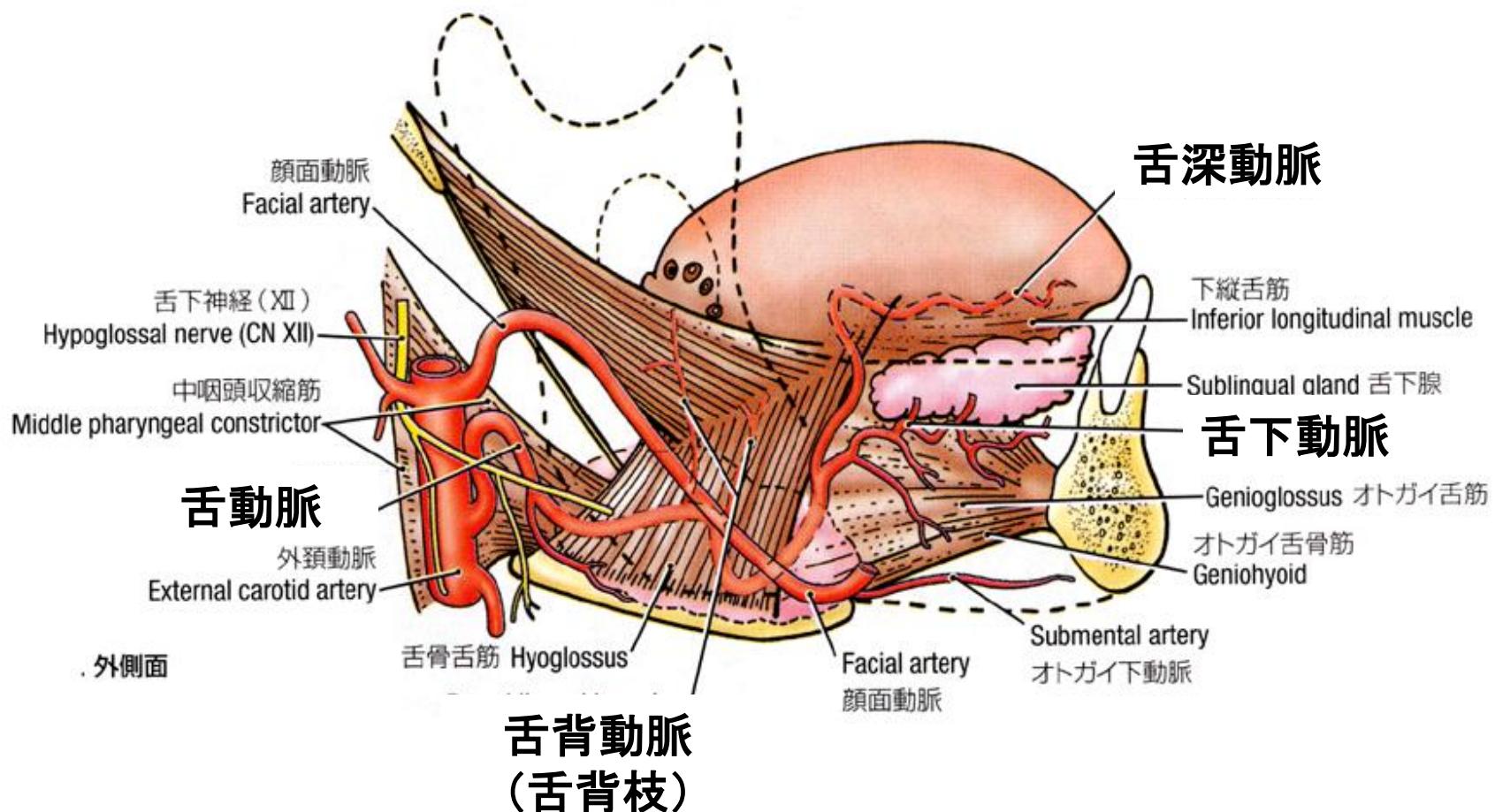


舌動脈を剖出する。外頸動脈まで追う。

舌背動脈（舌背枝）

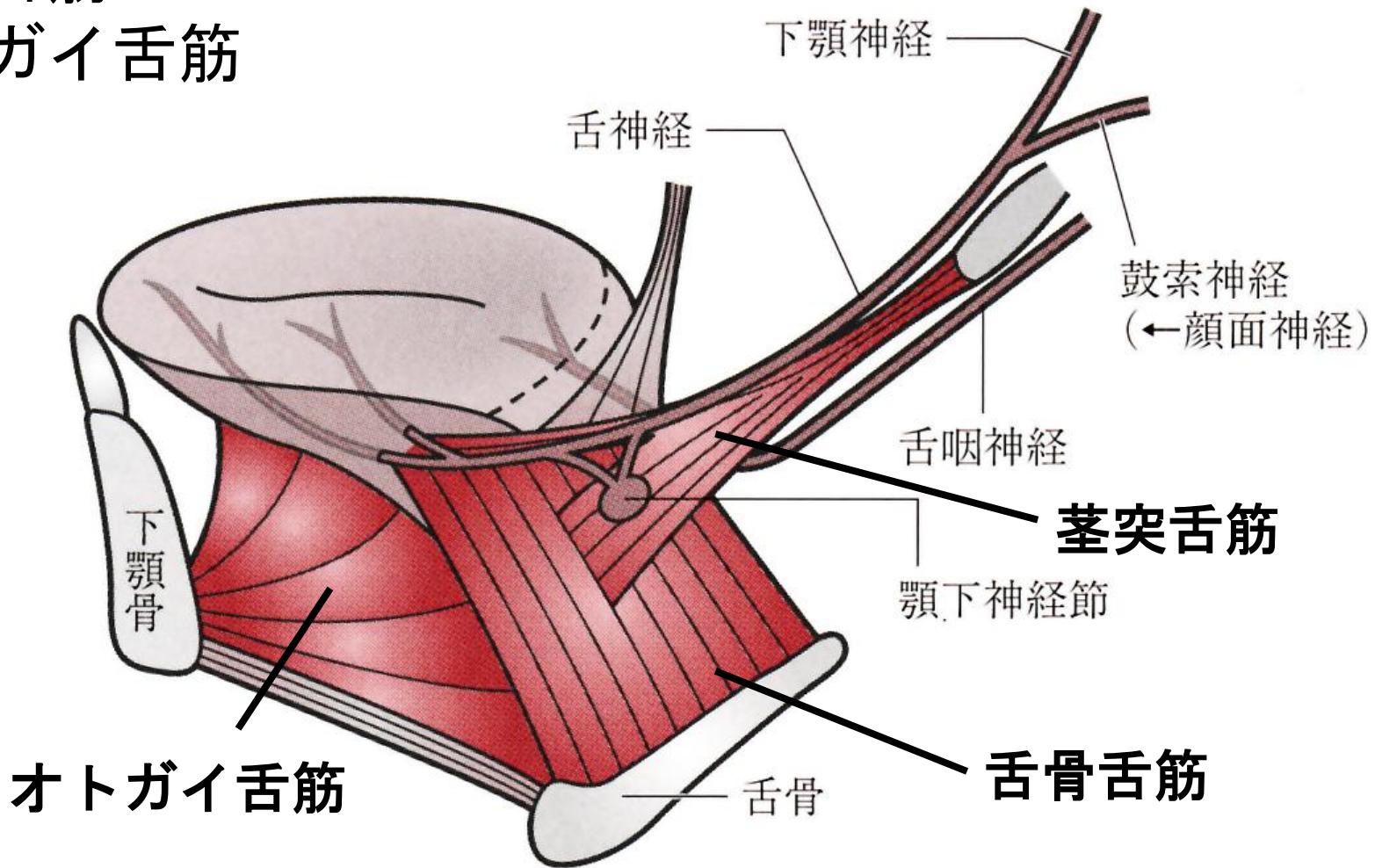
舌深動脈

舌下動脈



外舌筋（舌の位置を制御する筋、舌の外部に起始がある）を確認する

- ・舌骨舌筋
- ・茎突舌筋
- ・オトガイ舌筋



# 内舌筋（舌の形状を制御する筋、起始・停止とともに舌の内部）

- ・上縦舌筋
- ・下縦舌筋
- ・垂直舌筋
- ・横舌筋

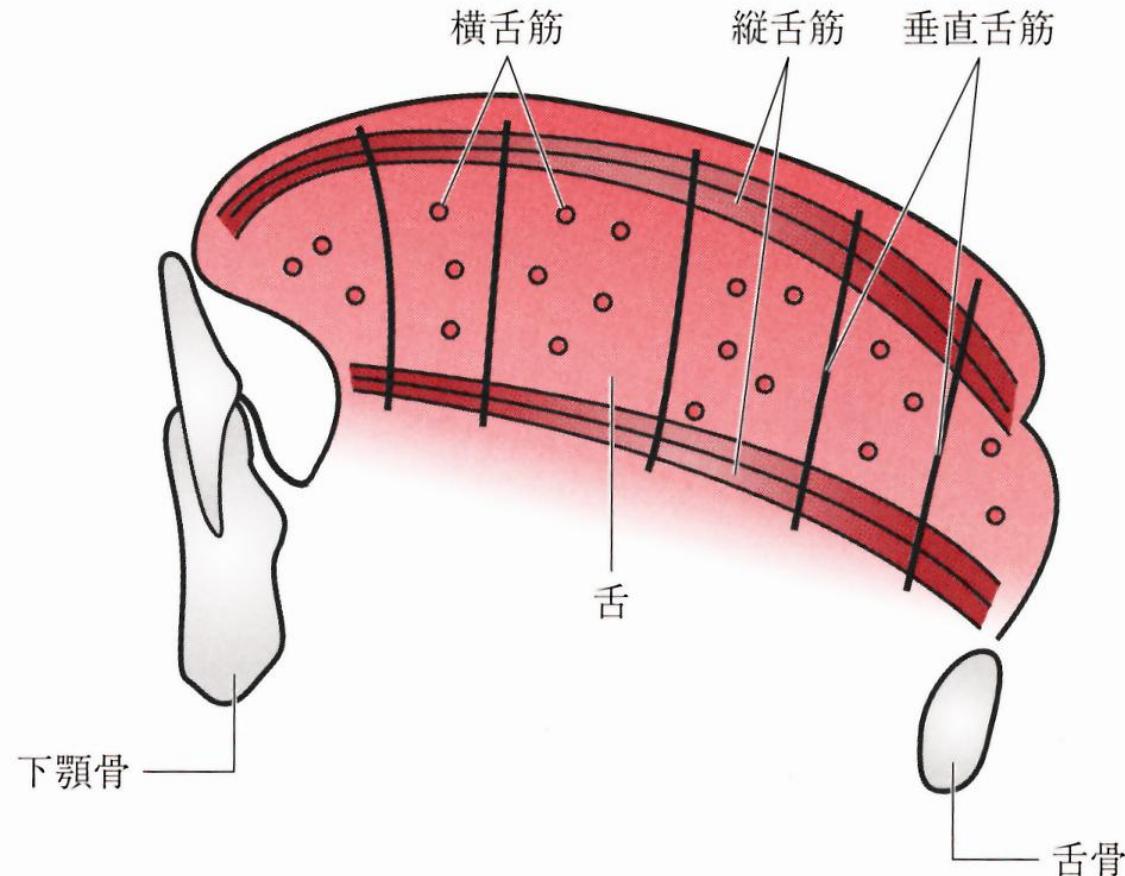
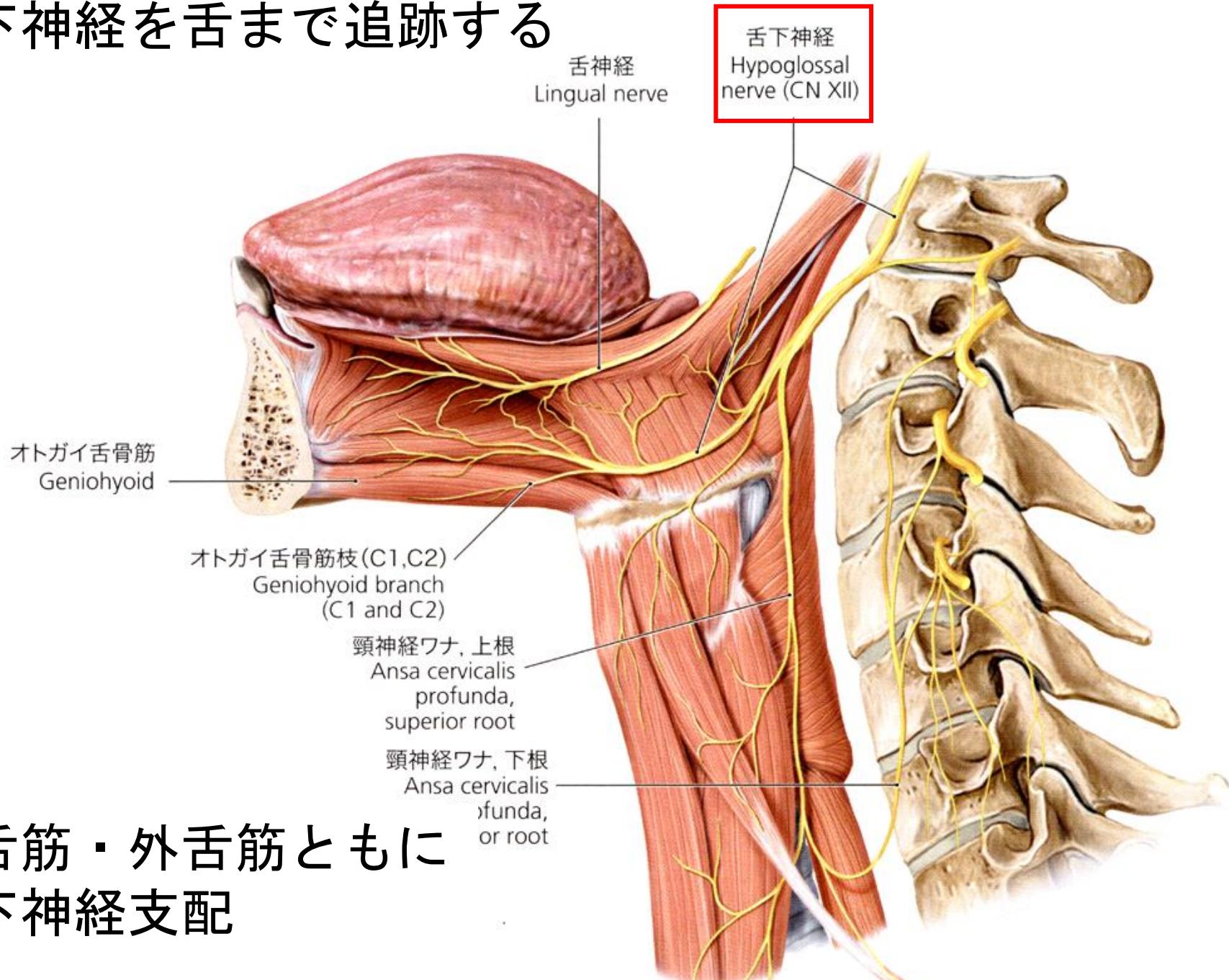


図 8-100 内舌筋

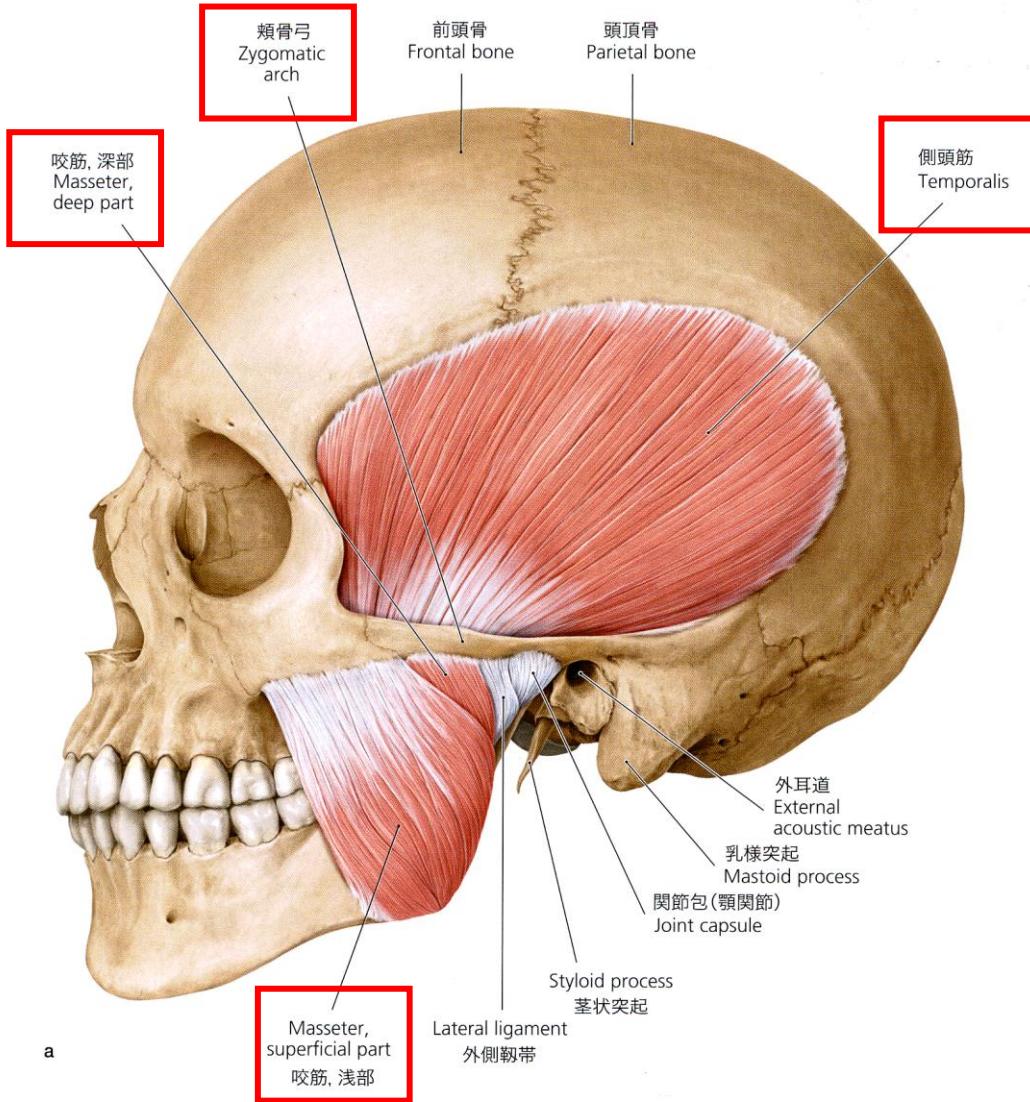
内舌筋とは舌の内部に起始と停止がある筋のことをいう。

# 舌下神経を舌まで追跡する



内舌筋・外舌筋とともに  
舌下神経支配

# 咬筋・側頭筋の剖出



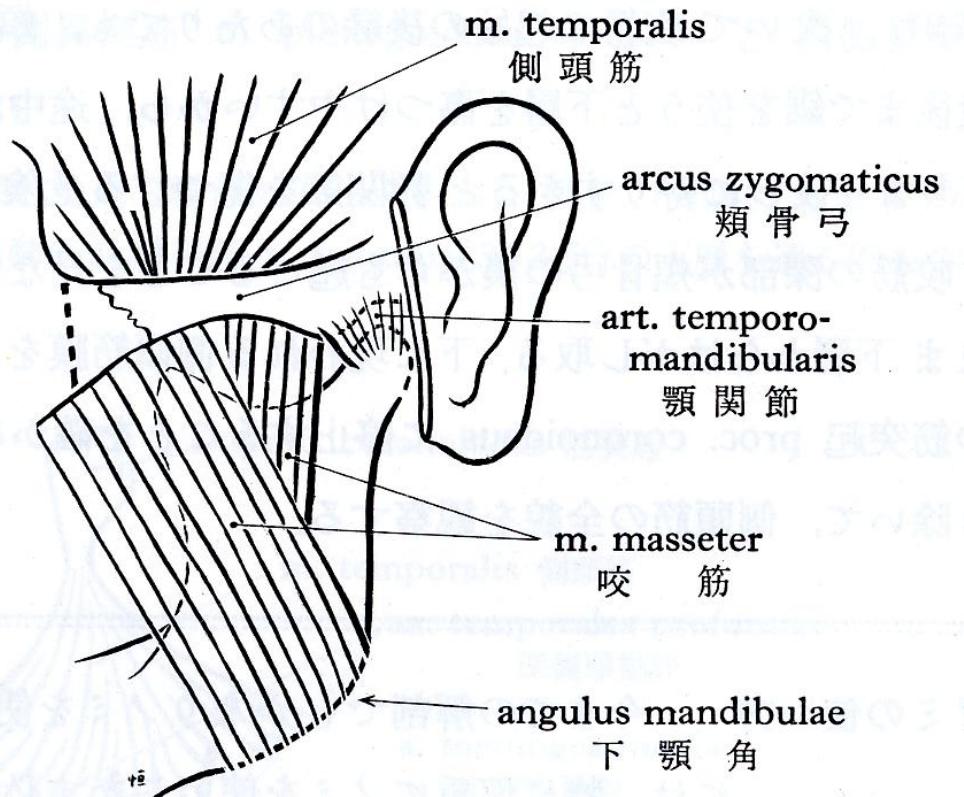
## 【側頭筋】

起始：側頭窩、側頭筋膜  
停止：下顎骨の筋突起

## 【咬筋】

咬筋 深部・浅部  
起始：頬骨下縁  
上顎骨頬骨突起  
側頭骨頬骨突起  
停止：咬筋粗面

1) 咬筋筋膜を剥がし、咬筋を剖出する。邪魔になる小血管や神経は取り除き、前縁・下縁・起始停止が分かるようにする。浅部と深部がわかるようにする。



228. 下顎枝の表がわの解剖手順 (1)

2) 頬骨弓より上の側頭筋膜をはがして側頭筋を剖出する。頬骨弓と側頭筋の間の結合組織を取り除く。

3) 頬骨弓の形がわかるように、骨膜などをはがす。

1. 脳硬膜がついたまま、脳神経・孔を観察
2. 硬膜静脈洞をはさみで切りひらきながら観察
3. 硬膜を一部剥いで脳神経（III・IV・V・VI）・中硬膜動脈を剖出する
4. 口腔の観察
5. 舌神経・舌下腺・顎下腺管・舌動脈の剖出（舌動脈は外頸動脈までも追う）
6. 外舌筋の観察・舌下神経の舌までの追跡
7. 側頭筋・咬筋・頬骨弓の剖出

教員のチェックを受ける